

(様式第15号)

特定不妊治療費助成事業実施医療機関における情報提供様式(任意事項)

医療機関名 長崎大学病院

本項目についての記載は必須ではありません。可能な範囲で記載してください。

治療実績について

施設における不妊治療による治療成績を記載してください。

当院において、データの揃っている直近の1年間(2019年1月から2019年12月まで)に、治療開始時点において35歳以上40歳未満である女性に対して実施した治療の実績は以下の通りである。

【新鮮胚(卵)を用いた治療成績】 2019年で新鮮胚移植は1例のみ

	IVF-ET	Split	ICSI	合計
採卵総回数(回)	1	0	0	1
移植総回数(回)	1	0	0	1
妊娠数(回)	0	0	0	0
生産分娩数(回)	0	0	0	0
移植あたり生産率(%)	0	0	0	0

IVF-ET: 採卵により得られた全ての卵子に対し、体外受精を実施

Split: 採卵により得られた卵子に対し、体外受精と顕微授精に分けて実施

ICSI: 採卵により得られた全ての卵子に対し、顕微授精を実施

【凍結胚を用いた治療成績】

	融解胚子宮内移植
移植総回数(回)	16
妊娠数(回)	9
生産分娩数(回)	7
移植あたり生産率(%)	44

来院患者情報

施設を受診した患者数について記載してください

データの揃っている直近の1年間（ 2019年1月から 2019年12月まで）に体外受精・顕微授精・胚移植を行った患者数（実数）は

25歳未満	(1)名
25歳以上30歳未満	(4)名
30歳以上35歳未満	(18)名
35歳以上40歳未満	(24)名
40歳以上43歳未満	(21)名
43歳以上	(6)名

データの揃っている直近の1年間（ 年1月から 年12月まで）に精巣内精子採取術を行った患者数（実数）は

20歳未満	()名
20歳以上30歳未満	()名
30歳以上40歳未満	()名
40歳以上50歳未満	()名
50歳以上	()名

治療指針について

施設における統一された治療指針がありましたら記載してください。

(記載欄)

不妊期間の長い高齢女性が適切に治療終了を選択できるように説明を心がけている。

(治療指針の例)

- ・治療のステップアップ・ステップダウンに関する考え方
- ・年齢に応じた治療の選択
- ・調節卵巣刺激法（自然周期・低刺激、高刺激等）の選択

等